

いの町 菊池学園だより (平成28年12月)

大人版 菊池学級開催！ 町民講座 いの元気塾「ほめ言葉のシャワーのまちいの町」

11月29日に菊池学園の取組の一つである「大人版 菊池学級」が、町民講座として開催されました。100名近い参加者を集め、たくさんの笑顔があふれる1時間半となりました。



今年度、大人版 菊池学級は1回のみで開催となりましたが、来年度は、町民講座だけではなく、教育委員会主催「生涯学習講座」で関連事業を計画しています。詳細は、広報等でお知らせいたします。

菊池先生が、町職員対象研修の講師に！！

11月30日には、町職員対象の研修会を開催しました。この研修は「教育を核とした地方創生」をテーマとし、教育特使菊池先生が実践されている心の教育・人材育成事業について役場職員への認知度の向上を図り、教育以外の幅広い視点から新たな事業提案の可能性を探る目的で行われました。『(菊池学園の)認知度を向上させるためにはどうすればよいのか』について熟議*1をし、その後ワールドカフェ方式*2で、熟議のなかから出てきたアイデアを検討し、より良いものを検討していきました。本川・吾北総合支所や仁淀病院、偕楽荘を含む様々な部署から35名が参加され、2時間を超えて熱心に議論が行われ、白熱した研修となりました。

*1 … 十分に議論・相談すること。

*2 … 話し合いの手法の一つ。テーマについて各テーブルで議論し、次にテーブルホスト(1名)以外は他のテーブルへ移動し、そのテーブルホストから前の議論内容を聞いてからさらに議論を深め、これを繰り返した後に、各テーブルホストがまとめの報告を全員にするもの。



同じ町職員でも初対面の方もいましたが、徐々にリラックスした雰囲気でも、終始明るく賑やかな研修でした。ゆるキャラ作成、ネットを利用したPR、グッズ作成、ファンクラブ結成など様々なアイデアが出てきました。実現できそうなアイデアから順に実行していき、「ほめ言葉のシャワーのまちいの町」を役場職員全体で目指していきます！

いの町 菊池学園だより (平成28年12月)

第1回 菊池省三先生との教師のたまごセミナー

12月3日、教員志望の大学生を主な対象として「教師のたまごセミナー」を開催し、約70名の参加者がありました。企画・運営を大学生と一緒に行うという新しい形の取組でした。学生さんもポスター作成、開催告知のためのラジオ出演、当日の司会と初めての経験が多かったようですが、頑張ってくださいました。県外の学生の参加もあり、新たな「繋がり」もできました。



司会を務めてくれた
高知大学4年生
豊田果歩さん



実践発表をしてくれた
高知大学大学院1年
棟田一章さん



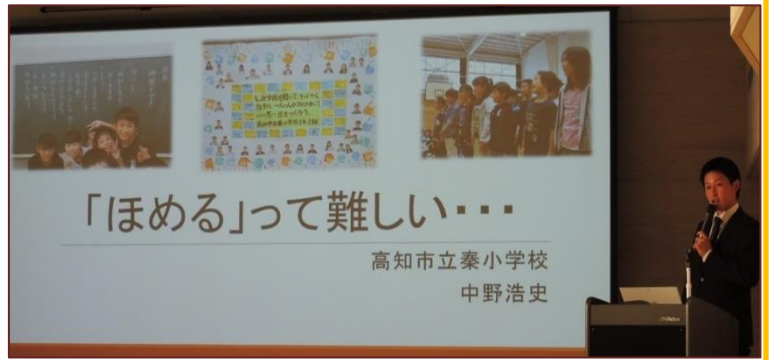
実践発表をしてくれた
高知大学大学院1年
鈴木達也さん



質問者として登壇してくれた
高知大学3年生
藤井貴土さん



大学生から菊池先生への質問コーナーでは高知大学と香川大学の学生さんが登壇してくれました。



現職先生から大学生への助言も兼ねて、実践発表をくださった高知市立秦小学校 中野浩史先生

「観」の変化から見えてくること

「読み合い」という意識から、

子どもの1つ1つの小さな反応に大きな価値

- ①表情
- ②目の力の入り方
- ③つぶやき(言葉)
- ④質問
- ⑤友達への反応
- ⑥読み手の大人を見つめる目 などなど

読み聞かせ ← 読み合い

一斉指導型授業 ← プレーニング

「大人も子ども一緒にでしょ! 私自身も変わった!」

中野先生同様、学生と年齢が近い立場の先輩として、実践発表をくださった愛知県犬山市立秦田小学校 萩原舞先生

↑ 徳島県からお越しいただいた松本崇史さん
絵本を「読み聞かせ」するのではなく、「読み合い」にする
ことの意義と重要性を教えてくださいました。
来年度は町内保育士幼稚園教員研修の講師として、再度来
ていただけことになりました!

今回生まれた高知大学生、高知工科大学生、香川大学生 →
と県内外の大学生との「繋がり」を元に、この取組をより
発展させていきます!!



いの町 菊池学園だより (平成28年12月)

参加者の気付き・感想 (抜粋)

- 中野先生の話に感銘を受けました。先生の正直な話に共感し、入りやすかったです。うまくできていることの発表でなく、自分の苦手な部分(皆、安心したのでは?)をさらけ出して、そこからの実践の話が聞けて良かったです。
- 絵本の話。以前から「読み聞かせ」という言葉が嫌いでした。絵本の先生の話は自分がずっと考えていたことと同じで嬉しかったです。ただ理論的なことや言葉で上手く表現することができていなかったのも、そのことを学べたことが嬉しかったです。
- 学生さんや教員になって5年という若い先生方が真剣に、また、ある意味楽しみながら学ばれている様子を見て、とても頼もしく思いました。松本さんのお話は最高に価値あるものでした。学校教育でも、保育、幼児教育に学ばなければならないと思います。保幼小中の連携は「読み合い」をキーワードにできると思いました。運営の大学生の皆様、お疲れ様でした。第2回のたまごセミナーを楽しみにしています。
- ついつい読み聞かせ＝静かになっていくことに反省しました。子ども達との絵本の中のやり取りをより大切に、色々な形で読み合いができるよう、工夫していきたいと思いました。
- 大学生の話を知っていると、自分もそんな気持ちでスタートしたなと、懐かしく思ったことでした。小学校の二人の先生の話もすごく勉強になり、色々な手法があることを知り、やってみようと思うものが沢山ありました。そして、意外に絵本ってすごい！と再発見しました。我がクラスでもやってみようと思いました。来て良かったです。
- 若い世代が真剣に取り組んでいるのを見て、良い刺激を受けました。
- 萩原先生が仰っていた、「挫折はチャレンジするからやって来る」の言葉に勇気づけられました。「よし自分はまだ頑張っている！」と気づくことができました。ガツンと挫折を味わったばかりで「自分はダメだな」と思っていたので…
- 絵本と菊池実践のご発表、ガツンとききました！「静かに聞いているか」そんなことばかり気にしていた自分が恥ずかしいです。今日学んだ視点で絵本を探しに図書館へ行ってみます！
- 「良い意味のとんちんかんな意見がいかされる教室」はすっと落ちました。絵本のもつ力。教師自身が読み合いをしていきたいです。
- 教師を目指している学生の考え方、実践をされている先生の考え方、絵本のコーディネーターの考え方等、色々な視点を聞くことができ良かったです。
- 現役の先生方の実践を聞いて考える時間は、普段の生活ではなかなか得られないと、つくづく思います。もちろん隣のクラスを除けばいつでも見られるのですが、のぞき見る間も作れなかったり、いざ、のぞいてみても、ベテランの先生方との実力差に打ちのめされたり…こうして「失敗しながら育てばいいよ」と言ってもらえる場に来ると、気持ちを持ち直すことができます！
- 第1回から素晴らしい集いでした。(第2回以降の発展の予感がします)熱意を持った教師のたまごの皆さんと過ごした時間は僕にとって宝物でした。中野先生と萩原先生の実践発表は学生さんにとって指標となるものだと思います。ありがとうございました。
- 意識高い学生さんがたくさんいて驚きました。中野さん、萩原さんの実践にも刺激を受けて、改めて自分を奮い立たせようと思いました。絵本「読み合い」の発表が衝撃的でした。まずは自分の子どもと読み合いをしたいと思えます。
- 承認とほめることの違い。共感なくして教育なし。
- はじめてふれる菊池実践で、とても良い刺激になりました。具体的な実践や方法を知ることができたので、今後活かそうです。
- 教員になるか悩んでいますが、今日参加して、やってみたい！と思えるようになりました。来て良かったです。